

にじ

千葉県介護福祉士会 会報 にじ



東葛ブロック研修会「みんな de ボッチャ in 東葛」

----- 令和6年10月5日(土)

令和6年10月5日(土)、千葉県社会福祉センターにて、ボッチャクラブ3388代表の千葉 誠氏(千葉県介護福祉士会会員)を講師にお招きし、第1回東葛ブロック研修会「みんな de ボッチャ」を開催しました。参加された方の中には、ボッチャは初めての方もいらっしゃいましたが、千葉会員の言葉一つ一つからあふれる楽しさが全体に伝わり引き寄せられ、徐々にチームの団結力が強くなって楽しく取り組まれていた様子でした。



また今回は、青年部運営委員会の越川会員がレクリエーションの意義、ボッチャを通してレクリエーションの必要性を再認識できるような講義をしてくださいました。グループワークでは、「もしも施設でボッチャを行うようなら、どんなことに気を付けるか」等をテーマとして、「楽しくなると前かがみになるので気を付けなければいけない」などの注意点が出た一方で、「身体を動かすレクリエーションを通して、身体を動かすことができないと思っていた高齢者が『実はこんなに動かすことができる』といった発見ができ、アセスメントになる」など、支援場面での重要な視点到気づき、ボッチャをアレンジしたレクリエーションの発想など、たくさんの意見を共有することができました。
千葉会員、越川会員、ご参加いただいた皆様、スタッフの皆様、ありがとうございました。
(小林)

ボッチャの「素材の素晴らしさ」を改めて知る

ボッチャ講師 千葉 誠氏

レクリエーションは、素材の楽しさを通して ①挑戦するドキドキ感 ②成功した時の達成感 ③仲間と力を合わせる充実感 が生まれます。また、利用者同士が「こうしよう・・・ああしよう・・・」と後押ししながら ①前向きに楽しみあう ②コミュニケーションを深める ③身体を動かしたりして、心身のリフレッシュ・社会性の維持や強化、心身機能の維持や強化を図る大目的があります。

ここで、「ボッチャ」の素材の楽しさを活かす技を4点述べてみたいと思います。

第1点は、素材の魅力・・・目的に相応しい素材を選択できるようにする

○利用者から見た楽しさ(利用者が味わう楽しさ)

○提供者から見た特質(素材の楽しさの基となる特徴)

第2点は、ルール(楽しさ)の伝え方・・・素材そのものを十分に楽しんでもらう時間の確保

○簡単なことから難しいことへと、素材に含まれる動作や約束ごとを段階的に移行する

第3点は、目的に沿った演出。

○目的に近づきやすい利用者の反応を引き出し、そこにほかの利用者の注目を集め、利用者全体の反応を波及させるリード技術(CSSプロセス)

◎キャッチ・・・対象者の前向きな反応を捉える

◎スポットライト・・・その反応にほかの対象者も注目を集める

◎スプレー・・・全体にその反応を波及させる

さらにその一連の流れを積み重ねていく

第4点は、個人を大切にすアプローチ。

○周りの前向きな反応を活かして、利用者の前向きな姿勢を引き出していく

千葉県介護福祉士会のボッチャを通しての研修会に講師としてお招きいただき、実践して新たな感想を持ち帰ることができました。ありがとうございました。



東総・外房ブロック研修会 「認知症ケアにおけるアセスメントの視点」

10月18日(金)

令和6年10月18日(金)、山武市のさんぶの森公園にて、第1回東総・外房ブロック研修会「認知症ケアにおけるアセスメントの視点」～自然観察から学ぶ、ご利用者理解で大切にすべきこと～を開催しました。

当日は朝からあいにくの雨模様でしたが、多くの方が参加してくださいました。

天気に振り回されながら、実際に木に触れて感触の違いを比べたり、グループごとに描く場所を決めてスケッチを行い、その後、グループ内で個々が描いたものを発表しました。

今回の研修を通じて、多様性の共有、共感する姿勢の大切さ、ご利用者の言動の背景を探る視点等の気づきを得ることができたと感じました。また、散策の中で事前に参加者同士の会話も弾み、他者との交流やリフレッシュにも繋がった様子でした。

(菊池)



「自然観察会」とは？

自然観察員 椎名 淳一氏

自然観察会は、自然環境の中で動植物や地形、気候などを観察しながら学ぶ活動です。一般的にはガイドや専門家が同行し、自然の仕組みや生態系について解説を行うことが多いです。参加者は自然の中での発見や学びを楽しむことができ、環境への理解や愛着を深める機会となります。



現在は認知症介護研究・研修東京センターが中心となり、「認知症ケア×自然観察」の研究が進んでいます。自然の中で頭を空っぽにして学ぶことで、リフレッシュ効果のみならず、認知症の人への気づきのチカラなどの行動が期待されます。

主な活動内容は、食料や動物の観察、鳥の声や昆虫の鳴き声の聞き分け、地質や地形の特徴の解説、季節の花や葉の変化を楽しむ、自然写真の撮影やスケッチなど、多様な楽しみ方があります。対象者は子どもから大人まで、年齢や専門知識を問わず楽しむことができるため、家族連れや教育機関の活動としても人気があります。千葉県介護福祉士会の自然観察会は特に「対人援助職」の方たちを中心に開催されています。最近では、外国人人材の方や認知症当事者の方も参加されています。

必要な準備は、動きやすい服装と履きなれた靴、帽子や日焼け止め(特に夏場)、雨具、双眼鏡や観察ノート(あると便利)、飲み物や軽食などです。

自然観察会は、知識を深めるだけでなく、自然と触れ合うことで心も体も癒される体験です。ぜひ気軽にご参加ください

研修

今後の研修会予定

※自然災害等により日時や会場を変更する場合がありますので、ホームページをご確認ください

令和6年度 介護福祉士実習指導者講習会(第2回)

令和7年2月8日(土)・2月24日(月・祝)・3月8日(土)・3月22日(土) 計4日間

千葉県社会福祉センター3階

※参加対象※

①介護福祉士資格取得後、**3年以上**介護に従事した経験のある者であって、実習施設において現在実習指導者である者、及び今後実習指導者になる予定の者

②当研修の参加は、基本的に無遅刻・無欠席で、4日間すべて出席できる方に限ります。

受講費 会員20,000円 非会員33,500円(受講決定後に振り込みしてください)

定員 30名

締切 令和7年1月25日(土)

青年部運営委員会

職員との会話を大切にする研修

1on1ミーティング(オンライン研修)

令和7年2月22日(土) 13:00~16:00

講師 岩崎 太郎氏(上尾中央医科グループ協議会 看護本部 介護科長)

参加費 無料

定員 50名

締切 令和7年2月15日(土)

※グループワークを行うため、一人一台の端末でのご参加を推奨します

※定員になり次第締め切ります



啓発・相談委員会&千葉・内房ブロック

令和6年度 介護カフェ特別企画

カイゴカフェ de ボッチャ

令和7年2月23日(日) 13:00~16:00

千葉県社会福祉センター3階研修室

参加費 無料

定員 20名

締切 令和7年2月14日(金)

※定員になり次第締め切ります



令和6年度 災害救援ボランティア基礎研修会

ボランティア 募集中



令和7年2月11日(火・祝) 14:00~16:30

千葉県社会福祉センター3階研修室

参加費 無料

定員 50名

締切 令和7年2月1日(土)

※定員になり次第締め切ります

2024年12月1日現在の会員数 611名

東葛ブロック	157名
千葉・内房ブロック	185名
北総ブロック	172名
東総・外房ブロック	97名

賛助団体(7団体)※敬称省略

承諾を得て団体名を掲載させていただいております。

いつも本会運営についてご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

- ・社会福祉法人 翠耀会 特別養護老人ホーム グリーンヒル
- ・東洋羽毛 北関東販売 株式会社
- ・社会福祉法人 九十九里ホーム 障害者支援施設 聖マーガレットホーム
- ・社会福祉法人 広寿会 特別養護老人ホーム いすみ苑
- ・株式会社 ジェイシー教育研究所
- ・社会福祉法人 オリーブの樹 オリーブハウス
- ・医療法人社団 一心会 初富保健病院 初富保健病院介護医療院

一般社団法人 千葉県介護福祉士会

〒260-0026

千葉市中央区千葉港4-5

千葉県社会福祉センター5階

TEL 043-248-1451

FAX 043-248-1515

E-MAIL:kai5nji@poem.ocn.ne.jp



千葉県介護福祉士会ホームページ

<http://care-net.biz/12/kai5chiba/>



千葉県介護福祉士会 Facebook



<https://www.facebook.com/>

千葉県介護福祉士会-1866986893408630/



※事務所の電話受付は平日の9~16時となっております。
時間外及び土・日・祝日に開催される研修会等のお問い合わせについては、留守番電話にて対応しております。

事務局だより



会員の皆様のおかげで、無事設立30周年記念式典を開催することができました。感謝申し上げます。

これから、40周年に向けて精進してまいります。それには皆様のご協力なくしてはできません。「結束」です!!

どうか今後も介護福祉士の資質向上のため、皆様と共に学び、会を盛り上げていきましょう。(事務局長 高橋)